

令和6年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立尾久宮前小学校

【評価】成果指標の達成度から評定（A・B・C）を決める A：達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する B：達成度が9割未満5割以上 → 継続実施 C：達成度が5割未満 → 目標の見直し

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)	予算及び決算	成果及び次年度の方向性	評価
教師の授業力向上	【内容】区の学力調査の結果から第5学年の国語、理科、全国学力調査第6学年の国語以外は、区、全国を下回っている。そこで、研究授業を年間4本実施し、教科の専門性（国語・算数中心）とタブレットPCの効果的活用力を高める。 【目標】区の学力調査において国語・算数の正答率を区と同等まで引き上げる。	【予算】164,400円 【決算】137,700円	タブレットパソコンを活用した授業研究と、新規採用者に対する授業研究を実施することができた。 タブレットパソコンを活用した授業研究では、昨年度から引き続いての年間講師を招聘し、新しい教材アプリを活用した提案授業を実施した。児童の興味関心を高めることができ、学習意欲も向上させることができた。 新規採用教員に対しては、3人の当該教員に対して2回の授業研究を実施し、講師を招聘して指導講評をいただいた。細部に渡る指導があり、教員の次年度に向けた研鑽意欲を向上させることができた。	B
国語・算数を中心とした思考力の向上	【内容】昨年度は、区の指定を受けたタブレットPCの利活用の推進を授業中心に取り組んだ。今年度は昨年度活用したスキルの向上とともに、国語・算数・理科を中心に実生活の中での教科の見方・考え方に結び付く思考力の向上を目指す。 【目標】区の学力調査での国語・算数・理科の正答率の令和5年度より引き上げを目指す。	【予算】253,740円 【決算】247,019円	児童・教員共にタブレットパソコン及びデジタル教科書の日常使いは定着している。教員においては、国語、理科、社会においてデジタル教科書内のQRコードを活用し、資料を提示することにより児童の学習理解を深めるために効果的な活用ができています。児童においては、調べる学習やカメラ機能を効果的に活用することにより自らの学習の表現力を向上させることに効果が上がってきた。算数では、自らの習熟度に合わせた問題に取り組むことにより、達成感を感じ取ることかできています。学力調査における数値的な向上は、今後の課題として残っている。	B
学校図書館の利活用	【内容】学校図書館の利活用を推進する 【目標】ICTと学校図書館を活用した教科の調べ学習の充実を図るとともに読書量の向上を図る。	【予算】376,560円 【決算】376,177円	学校図書館の年間計画を見直し、教科による学習での活用を推進してきた。学校図書館主任と学校司書との連携を充実させ、意図的計画的に学校全体での活用度の向上を図るよう努めた。学級間、教科領域別に利用度の格差は以前認めたものの、前年度より利用状況は向上した。また、読書バッジを作成した。児童からデザインを募集することによって意識を高め、目標達成者に贈呈することによって、全体の読書量の向上を図ることができた。全校児童で10%の貸し出し冊数の増加をみることもできた。	B